

行歯会だより 第91号

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会) 平成 25 年 9 月

【今月の記事】

- 平成25年度 第2回 行歯会理事懇談会記録
- 歯科職の行うリスクマネジメントとラピッドアセスメントを考える
岩手県保健福祉部健康国保課 森谷 俊樹
- 第72回日本公衆衛生学会自由集会のお知らせ

平成 25 年度 第 2 回 行歯会理事懇談会記録

日時 平成 25 年 8 月 27 日 (火) 午後 7 時～9 時
場所 東京八重洲倶楽部第 10 会議室
出席者 長優子会長、高澤みどり副会長、中村宗達事務担当理事、山田善裕事務担当理事、柳澤智仁事務担当理事、石川明美事務担当理事、安藤雄一事務局長、加藤千鶴子事務担当理事
記録 加藤千鶴子

協議・報告事項

- 厚生労働省の歯科衛生士雇用対策の経過報告 (中村事務担当理事)
 - ・8月14日、長会長、中村理事、安藤事務局長の3名で歯科保健課・上條課長を訪ねたが、御本人が不在で小椋課長補佐と面談。8月21日に中村理事が改めて上條課長と電話で話したが、前回訪問(4/23)に上條課長御自身が語った内容を踏まえてやりとりすることはできなかった。そのため、行歯会としては別ルートも含めて今後も引き続き、前向きに検討する。
- 会員名簿管理進行状況 (安藤事務局長、柳澤事務担当理事)
 - ・ヤフーMLから科学院 ML へ移行しエラーはほとんどない。名簿と一致しないアドレスが 250 名程いたが、退職者やアドレスの再取得等が原因と考えられるため、アドレスは全削除した。
 - ・現在の正式会員数 632 名。
 - ・今回の名簿更新作業に伴い、新たな会員が増えたので、入会率の向上につ

いては、毎年名簿の更新作業を行いながら、周知していく。

3 行歯会だより（中村事務担当理事）

- ・平成 27 年 8 月以降の担当について、高橋環理事と矢野理事に依頼する。

4 会員アンケート（中村事務担当理事、加藤事務担当理事）

- ・経費がかからないため、継続的に、テーマを分けて半年に 1 回くらいアンケートを行うようにする。
- ・最初は、行歯会への要望、新MLについて、仕事のやる気について調査する。

5 会員による歯科大・歯科衛生士学校での講義請負について（石川事務担当理事）

- ・会員の中で、誰が、どこに、どんな講義を行っているか状況把握のアンケートをする。

6 その他

(1) 厚生労働科学研究

ア 『質の高いサービスを提供する為の地域保健行政従事者の系統的な人材育成に関する研究』

「歯科口腔保健の情報提供サイト（通称：歯っとサイト）」は作成中。その後、市町村行政等の歯科保健担当者に対する Web アンケート調査を実施予定。研究班が人材育成班のため、歯科衛生士の国配置の必要性について報告書に記載するよう検討する。

イ 『乳幼児健康診査の実施と評価ならびに多職種連携による母子保健指導のあり方に関する研究』

幼児健診アンケートは最終案ができ、全国調査に入る。歯科は、健康教育・保健指導を誰が担当しているか体制を聞くレベルだが、保健師や栄養士は具体的な内容まで踏み込んでいる。年度途中から研究が始まった。調査は市区町村に直接依頼して実施する。

(2) 公衆衛生学会自由集会

- ・テーマ「地域歯科保健の展開を考える ～行政に勤務する歯科衛生士の活動を通して～」で

10/24 に三重県・津市にて行う予定。

次回日程は未定。1 月中旬くらいに、事務担当理事及びブロック理事が出席する「理事会」を開催予定。

★深めよう災害時公衆衛生歯科機能の極み★

～歯科職の行うリスクマネジメントとラピッドアセスメントを考える～

災害時公衆衛生歯科機能について考える盛岡ワークショップ報告

岩手県保健福祉部健康国保課 森谷 俊樹

こんにちは、岩手県保健福祉部健康国保課の森谷です。3年間、保健所で感染症や医療全般を担当し、歯科保健や健康づくり以外の業務について経験していましたが、今年の4月に県庁に戻り、歯科保健を担当しています。

この度、7月28日（日）の午前中に盛岡市内で開催した「災害時公衆衛生歯科機能について考える盛岡ワークショップ」について、「行歯会だより」に投稿する機会をいただきましたので、ご報告いたします。

このワークショップは、前日の夏ゼミの中で、神奈川県厚木保健福祉事務所の北原先生と東京医科歯科大学の中久木先生が企画されたグループワーク「今後の大規模災害時の公衆衛生歯科機能について考える」について、より深く検討するために準備したものです。岩手県は、東日本大震災津波の被災県であることから、このテーマについてぜひ参加者の皆様に理解を深めてもらいたいと考え、急遽準備しました。当日は、急な開催であったにもかかわらず約20名の行政歯科医師・歯科衛生士、大学・歯科医師会関係者等の先生方に参加していただきました。

ところで、「災害時の公衆衛生歯科機能ってなに？」という人もいらっしゃるのではないのでしょうか。災害時に歯科関係者が関わることとしては、身元確認、歯科医療救護、口腔ケア等の保健活動を連想されると思います。しかし、この歯科医療救護や口腔ケア等の保健活動の際には、各チームを無計画に避難所等に派遣するわけではなく、避難所数、避難者数、歯科診療所の被災状況等を考えて派遣します。この時、避難所の口腔保健に関わる環境、避難者の口腔保健状況等を評価できる公衆衛生歯科機能があれば、各チームを歯科的ニーズの高い地域に優先派遣したり、多く配置したりすることが可能です。また、随時評価することにより、避難所と避難者の状況の変化に合わせて派遣体制を適宜変更していくこともできます。

このワークショップの趣旨は、次のとおりです。

東日本大大震災の様な大規模災害時に、公衆衛生歯科専門職として、

- 1 都道府県、保健所及び市町村に期待されるコーディネート機能を深め、今後の相互支援も想定してその対応の基本ベースを培うこと（共有化すること）。
- 2 具体的に、保健所や市町村の現場に期待される災害時の情報収集機能の1つのツールとして、災害時における避難所等の歯科ニーズアセスメント票の必要性を確認すること。また、このアセスメント票の基準化・普遍化（平時での応用など）について検討し、今後の普及を図ること。

ワークショップは、長浜市国民健康保険中之郷歯科診療所の安福先生の司会で進行し、冒頭、北原先生からワークショップ開催の趣旨と三重構造の歯科口腔アセスメントの必要性について説明がありました（図参照）。

公衆衛生機能を果たすレベル1の避難所等アセスメント票については、既にいくつかの自治体で「歯科ニーズ」の項目を設けています。また、臨床的意義をもつレベル3の個人用アセスメント票については、既に取り組みされている自治体もあるでしょうし、日本歯科医師会の行動計画や日本歯科衛生士会のマニュアルにも記載されています。しかし、公衆衛生歯科機能に特化したレベル2の歯科版避難所等アセスメント票については、探しても見つからなかったとのこと。詳細な歯科に関わる情報を含むレベル2のアセスメント票は、避難所や福祉施設等で歯科医療救護活動や口腔ケア等の歯科保健活動を展開する際に、迅速に現地情報を把握し、また他の公衆衛生ニーズと連動して活用することで大きな役割を發揮できると考えます。

三重構造の歯科口腔アセスメント指標			
	レベル1 公衆衛生職 共通の眼	レベル2 公衆衛生歯科職 の眼	レベル3 臨床歯科職 の眼
	避難所等 アセスメント票	歯科版 避難所等(マス) アセスメント票	歯科版 個別アセスメント票
目的	発災初期段階 医療・公衆衛生上のニーズを短時間で把握する	亜急性期以降の段階 潜在しがちな集団の歯科口腔保健のニーズを短時間で把握する	歯科医療や口腔ケア支援活動場面 個々の要援助者の課題分析や援助内容等の記録
情報収集する者	医療救護チーム員 自治体(保健衛生系)職員	自治体歯科職員 歯科医療救護チーム員 保健師等	歯科医療救護チーム員
情報の提供先	現地災害対策本部・ 都道府県災害対策本部	現地災害対策本部・ 都道府県災害対策本部 (災害時歯科コーディネート担当者)	サービス提供主体者(歯科医療救護チーム統括者)、 被援助者

次に、私が「平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波における岩手県の歯科医療救護活動から見えた課題」と題して報告しました。

歯科医療救護活動における行政側のコーディネーターを務めた観点から、コーディネート役として果たした役割と課題、また災害時の公衆衛生歯科機能の可能性について説明しました。なお、岩手県の歯科医療救護活動の内容については、私や県歯科医師会の先生方が学会等で報告していますし、県歯科医師会でも報告書を取りまとめているので、それらの抄録や報告書をご覧ください。

岩手県では歯科医療救護活動を開始する前に、一部の避難所に県歯科医師会の先遣隊を派遣しています。この先遣隊の役割は、避難所に出向き、口腔衛生用品の配布、誤嚥性肺炎防止ポスターの掲示、救護活動の周知チラシの掲示、歯科医療チームの活動調整、避難所に関する口腔保健状況の把握（聞き取り）などです。そして、先遣隊の先生方が避難所を訪問した際、どういう視点で避難所の状況を観てもらい、また避難所の責任者の方からどのような内容の聞き取りをすべきかということで、私が1日、2日で作成したものが「避難所の口腔保健状況の調査票」です（図参照）。

この調査票は、口腔衛生用品の充足度、口腔衛生の阻害要因、口腔衛生行動の状況、飲食の状況、避難者の年齢構成、要支援者・要介護者の数、口腔ケアの実施状況等の項目から構成されています。ただ、先遣隊の先生方の活動支援ツールとして作成したもので、調査票とはなっていますがデータ収集を目的としてはいませんでしたし、項目数も多かったため、すべての項目の把握は難しかったようです。また、岩手県では最も多い時で400近い避難所がありましたが、盛岡から日帰り2日間の日程ということもあり、先遣隊が訪問できた避難所数は移動歯科診療車の配置予定避難所を中心に32箇所でした。それでも、先遣隊の活動は、県歯科医師会の先生方にとって歯科医療救護活動を円滑に開始することに大変役立ったようです。この調査の結果は、歯科医療救護チームの岩手県歯科医師会の責任者であった西郷先生がとりまとめ、岩手公衆衛生学雑誌に資料として投稿されていますので、そちらをご覧ください。

結果的に、この調査票が、北原先生の言われているレベル2の歯科版避難所等アセスメント票に該当することになります。

しかし、この調査では、把握した避難所が全避難所の1割未満であったこと、調査項目が多かったため、欠損データが多数みられたこと、そして何より、結果をコーディネート機能に活用できなかったことが（当初から先遣隊の活動支援ツールとしていましたので、コーディネートに活用しようと考えていませんでした）、課題となりました。つまり、公衆衛生歯科機能をコーディネート機能に活かせなかったということです。

もし、歯科医療救護活動の前にレベル1またはレベル2のアセスメント票を全避難所に実施し、その結果を集計・分析できていたらどうだったでしょうか。歯科医療救護のチームを問題のある避難所に優先派遣することも可能であったはずです。

ワークショップでは、この他にも、行政側のコーディネーターとして、歯科医療救護チームの派遣計画の作成、県歯科医師会との連絡調整、他の医療チームとの情報共有、国との連絡調整等を行ったこと、また歯科医療救護活動において多くの課題があったことも報告しました。

次に、震災時に岩手県歯科医師会の専務理事として支援活動に携わり、また先遣隊や歯科医療救護チームにも参加された大黒先生より、「歯科医師会から見た災害歯科医療」、「岩手県版避難所の口腔保健状況調査票を使った感想」について報告していただきました。特に、先遣隊として「避難所の口腔保健状況の調査票」を活用された感想として、項目数が多過ぎたことが課題で、訪問者が現場で臨機応変に聞き取り等の対応ができることが重要とのことでした。

この後、グループワークでレベル2の「歯科版避難所等アセスメント票」について検討を行いました。最初に北原先生からレベル2のアセスメント票（具体案）について提示があり、これを基に、各グループで項目の追加、修正等の検討を行い、班別発表では、有病者数、洗口場の有無、義歯ケースの充足度、痛くて噛めない人数、食べ物が硬くて噛めない人数など、多くの項目が挙げられました。

今回のワークショップでは、時間の関係でアセスメント票の基準化・普遍化までは検討できませんでしたが、参加者の皆様にはアセスメント票の必要性を理解していただけたと思います。今後の予定ですが、御支援・御協力していただける皆様とアセスメント票の暫定版を作成し、関係者・関係機関に周知していくこととしています。

第 72 回日本公衆衛生学会総会 自由集会

地域歯科保健の展開を考える～行政に勤務する歯科衛生士の活動を通して～ のご案内

今年度は三重県津市におきまして、平成 25 年 10 月 23 日（水）～25 日（金）の日程で第 72 回日本公衆衛生学会総会が開催されます。

今回の自由集会では、「地域歯科保健の展開を考える～行政に勤務する歯科衛生士の活動を通して～」をテーマとして、市町行政勤務の歯科衛生士二名から話題提供をしていただいた後に、ディスカッションを行っていきます。

皆様におかれましては、意見交換、情報共有の場としてこの自由集会には是非ご参集いただきたく、ご案内申し上げます。

事前の申し込みは ishihn01@pref.mie.jp まで、ご連絡をお願いします。

行歯会会長副会長も参加予定していただいております。

なお、最新のスケジュール等につきましては、日本公衆衛生学会の総会ホームページ <http://www.c-linkage.co.jp/jsph72/> をご覧ください。

記

自由集会 47

地域歯科保健の展開を考える～行政に勤務する歯科衛生士の活動を通して～

日時：10 月 24 日（木）18：30～20：00

場所：三重県歯科医師会館 1 階会議室（三重県津市桜橋 2-120-2）

内容：

1. 事例発表

桑名市の事例 桑名市中央保健センター 歯科衛生士 田中千暁 氏

紀宝町の事例 紀宝町保健センター 歯科衛生士 竹田仁香 氏

※聞き役 行歯会会長 江戸川区東部健康サポートセンター 長 優子 氏
行歯会副会長 千葉県市原市保健センター 高澤みどり氏

2. 意見交換

※自由集会同会場は、メイン会場である三重県総合文化センターから車で 10 分弱のところ、津駅からは、徒歩 5-10 分程度の距離です。

当日、メイン会場で午後歯科保健に関するシンポジウムが 18:00 まで開催されま

すので、当自由集会の開始を 18:30 といたしました。

問い合わせ先 (世話人代表) 石濱 信之 三重県健康福祉部医療対策局健康づくり課
電話：059-224-2294
FAX：059-224-2340
e-mail：ishihn01@pref.mie.jp

編集後記

今回は自由集会のご案内を載せました。三重？津？どこ？伊勢神宮のある県です。そんなに遠くはありません。試しに経路、路線で検索してみてください。「なんだこれくらいの時間で行けるのか」です。多くの方のご参加をお願いします。(I)

10月に入り、朝夕が涼しくなってきました。季節の変わり目は毎年鼻炎アレルギーが再発し、日常に支障がでてくるのですが、今のところ大丈夫です。今年は早めの対策をと思っています。ところで、今年度も後半に入り、事業も立て込んできました。年度始めに立てた計画がずれ込み、少々焦ってきております。皆様の職場ではどうでしょうか。こちら、早めの対策(計画的な事業実施)が大切だと実感する今日この頃です。

(H)